資料７

医療機能分化促進の観点から

- 病院の機能・役割について
  -いざという時の為に知っておきましょう-　理事　大坪　由里子
- 東京都において求められる
  これからの高齢者医療について　理事　西田　伸一
- データから垣間見るこれからの東京の医療と介護　理事　荘司　輝昭
- 市区町村行政への要望（の一部）　理事　増田　幹生

資料7-1

病院の機能・役割について

–いざという時の為に知っておきましょう–

東京都医師会理事　大坪　由里子

なぜ長く入院していられないの？

すぐ近くに病院があるのに、
救急車で運んでもらえないの？

「リハビリをしたい」と
入院をお願いしたけど、
断られてしまった…

近所の病院に移ったら
看護師さんの数が
少なくなったみたい…

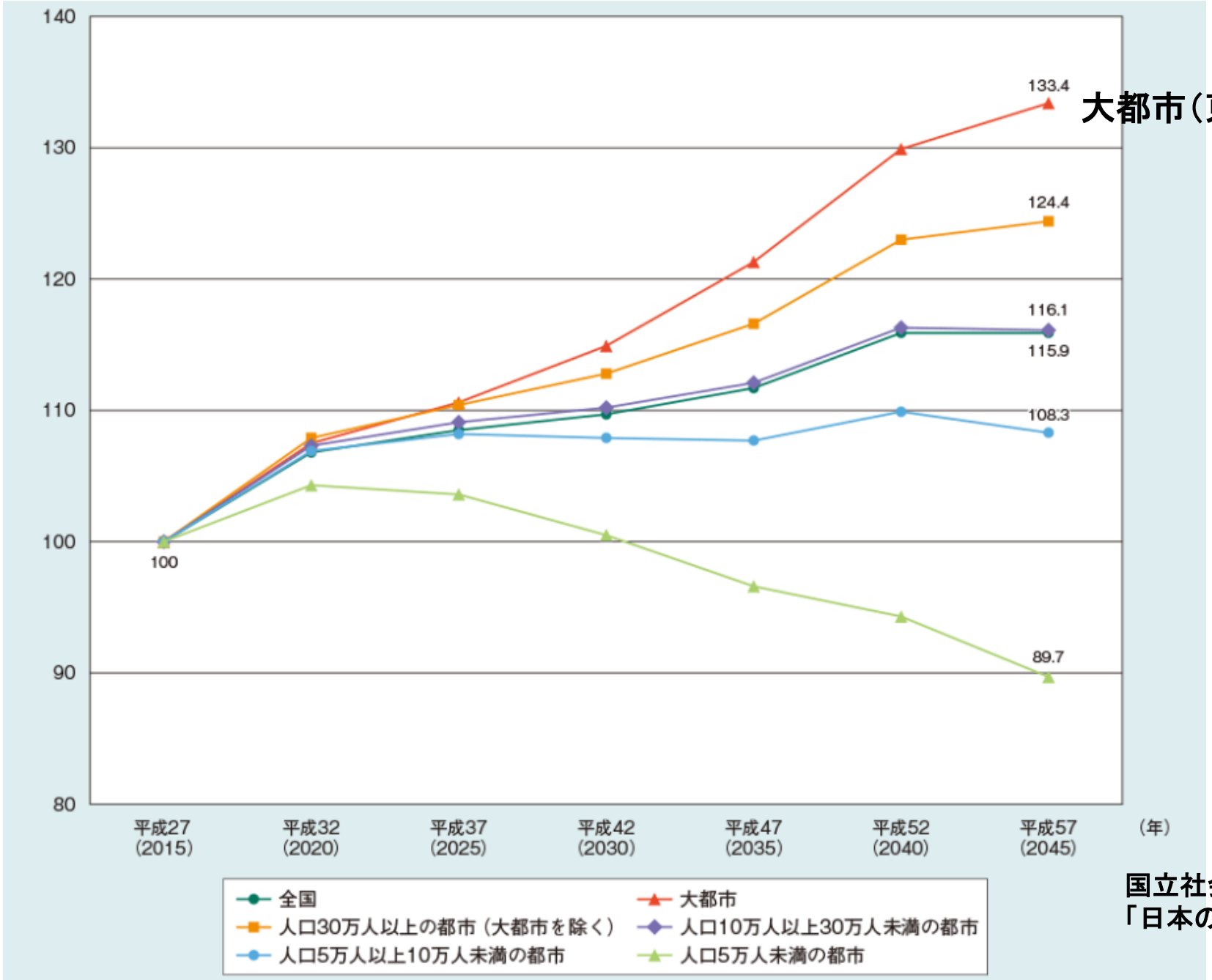
資料7-2

東京都において求められる
これからの高齢者医療について

令和6年6月11日

東京都医師会　医療介護福祉担当理事　西田伸一

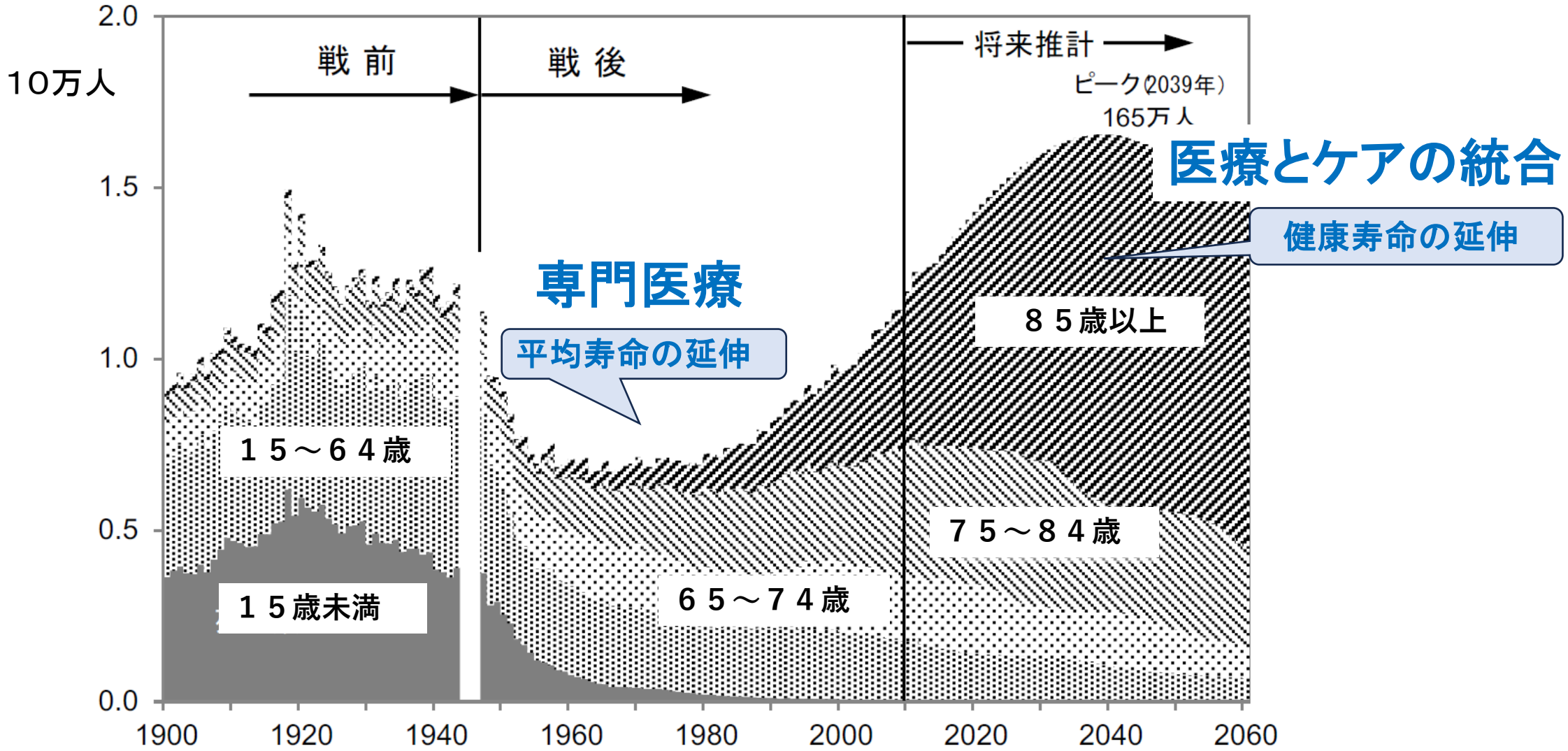
都市規模別にみた65歳以上人口指数の推移（2015年＝100）



大都市（東京都区部及び政令指定都市）

国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口（平成30年度推計）」

年齢階層別死亡者数の歴史的推移



国立社会保障・人口問題研究所　金子隆一氏作成資料

これからの東京都の高齢者医療において、
かかりつけ医機能による継続した総合医療の提供と、
本人の意思決定支援が必要です。

支援を要する健康状態になった後の生き方について考えてみましょう。

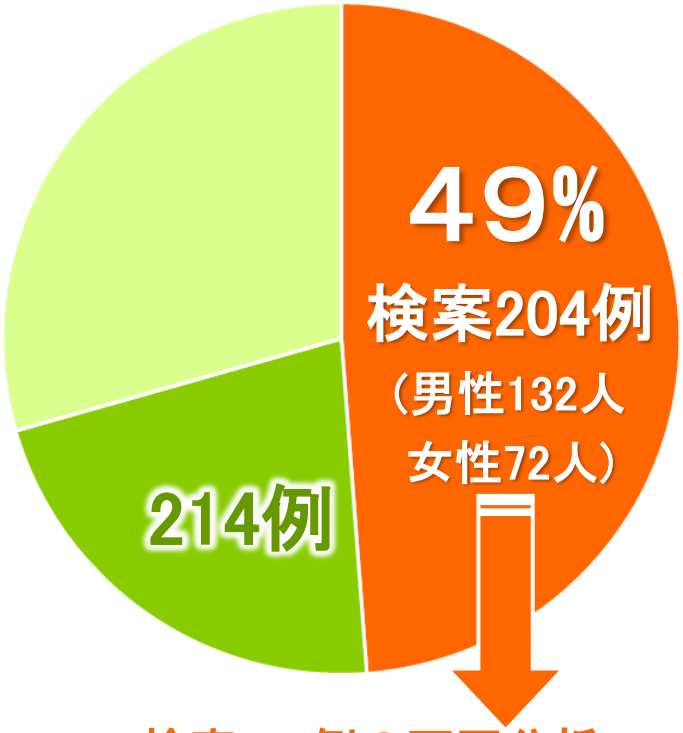
資料7-3

データから垣間見る
これからの東京の医療と介護

荘司輝昭

2020年立川市の自宅死亡の現状

自宅死亡418例

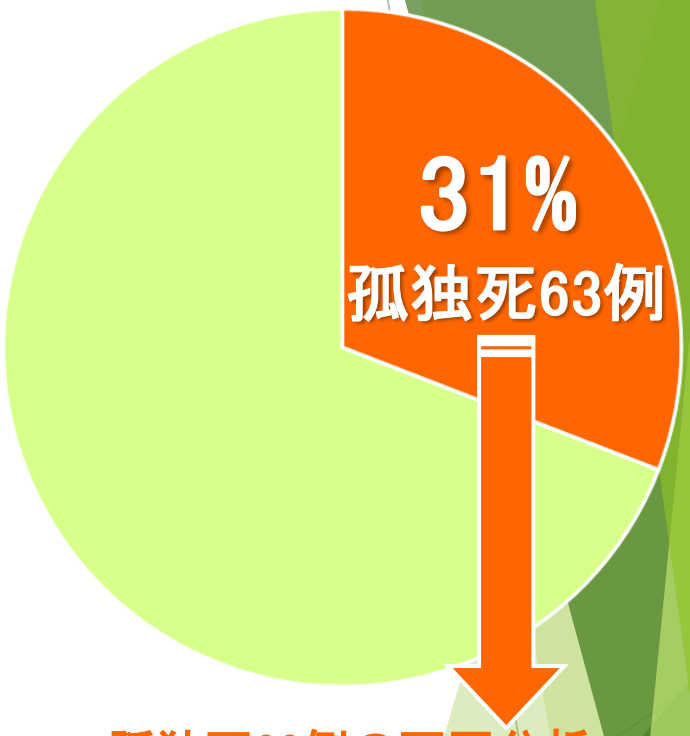


検案204例の死因分析

心疾患	81	栄養代謝障害・老衰	8
外　因	22	消化器疾患	6
脳疾患	20	呼吸器疾患	6
癌	10	熱中症	6
肝疾患	9	不　詳	36

2020年立川市の孤独死の現状

検案204例



孤独死63例の死因分析

心疾患	18	消化器疾患	3
脳疾患	7	癌	1
肝疾患	4	熱中症	1
呼吸器疾患	3	不　詳	23
栄養代謝障害	3		

出典　厚生労働省人口動態統計、東京都福祉保健局のデータより立川在宅ケアクリニック統計

かかりつけ医を中心とした「切れ目のない医療・介護」の提供

患者・国民の健康増進のための幅広い医療・介護連携

行政

連携

医師会

生涯教育
地域の情報提供

診療・相談

地域での
医療・介護資源
に応じた対応

かかりつけ医

日常の診療、予防・健康
疾病の早期発見
重症化予防
適切な初期対応
専門医への紹介
症状改善後の受入れ

適切な受療行動、
重複受診の是正、
薬の重複投与の防止等
により医療費を適正化

専門医療機関

専門的な検査・治療
合併症への対応

専門医への紹介
症状改善後の受入

訪問看護
訪問介護
服薬指導　等

歯科医師
薬剤師
看護師・准看護師
理学療法士
管理栄養士
ケアマネージャー等

多職種間の連携

今日考えてほしいこと

人間は出生届でこの世に生きていくことを証明
　死亡届でこの世で生きたことを証明される
その診断（人生）には医療者が必ず関わっている

- **医療者とどうつきあうか？**

是非信頼できる医療者といい関係構築を

資料7-4

市区町村行政への要望（の一部）

高齢者（独居、老々介護）の
要医療、要介護、災害時の支援策の一環として

東京都医師会理事　増田　幹生

都市部の住環境
(30度ルールってご存じですか？)

- 都市部では十分な敷地を有していない方も多く、二世帯住宅の建築は困難な場合も多い。
- 子供世代は結婚して家庭をもつと住環境に恵まれている郊外や近隣他県に住居を構える場合もめだつ。
- 高齢となった親世代は独居や老々介護の状況になり、急病の時や要介護となった場合に迅速な対応に遅れを生じる一因となっている。また災害時（直下型地震や水害など）は災害弱者となり対応が遅れがちになる。
- 近隣（特に交通網分断時も歩いてたどりつける距離）に家族がいる場合は当然迅速な対応が可能となる。

医療介護福祉現場からの市区町村行政への要望

- 高齢の親世帯の近傍に子供家族が居住する場合、家賃の補助などインテンシブをつける事により、若い世代を市区町村内に誘致できる。
- これは前記の人手が必要な緊急事態には非常に有利に働き、結果として救急、介護、医療面でそれ以上の人的、金銭的な効果が期待できる。
- また現在普及しつつあるが、高齢者の移動手段としてのコミュニティバス路線（居住地-医療機関-基幹病院-駅-商業施設を結ぶネットワーク）の拡充が望まれる。